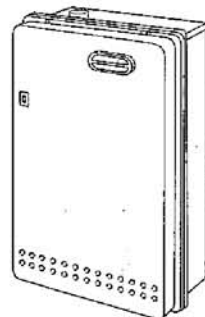


ガス暖房専用熱源機 **暖ライフ40** 44-765型

<BL認定品> 型式名 GH-4000



(44-765型)

取扱説明書 大阪ガス

- このたびは大阪ガスのガス暖房専用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代峰3丁目南2-37	TEL 大阪	06(586)1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	TEL 堺	0722(38)1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	TEL 和歌山	0734(31)2481
北東部事業本部	〒578	京大阪市稻葉2-3-17	TEL 河内	0729(62)1131
北部事業所	〒569	高槻市藤の里町39-6	TEL 高槻	0726(71)0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	TEL 奈良	0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	TEL 神戸	078(360)3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	TEL 姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	TEL 豊岡	0796(23)2221
京浜事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1	TEL 京都	075(311)7331
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	TEL 草津	0775(62)6311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	TEL 彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南興隆町3-4	TEL 長浜	0749(62)7171
本社	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	TEL 大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

【おねがい】

ガスくさいときは、すぐ機器の使用をやめてガス栓を閉め、窓を全開にして(火災に注意して)大阪ガス、サービスショップにご連絡ください。

SAP8003

もくじ




もくじ	1
必ずお守りください	2
各部のなまえとはたらき	6
使いかた	
初めてお使いになるときは	7
暖房・乾燥運転のしかた	8
冬期の凍結による破損予防	9
日常の点検・手入れのしかた	10
故障かな?と思ったら	11
アフターサービスについて	12
主な仕様	13

必ずお守りください(安全上の注意)







安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

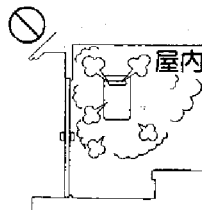
 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	アース必要		火気禁止
	分解禁止		接触禁止

危険

屋内設置の禁止



- この本体は屋外設置形です。屋内(浴室内きむ)への設置は、絶対にしていただき。一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気づいたときは、次の1~2の処置が終わるまでの間、絶対に

- 火をつけない。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入切や、電源プラグの抜き差しをしない。
 - 周辺の電話も使用しない。
- 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



火気禁止



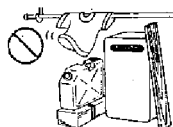
異常時・緊急時の処置

1. 放熱器の運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を開める。



- 異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 火災・感電・故障などの予防のため。

火災の予防

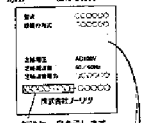


- 本体や排気口のまわりに燃えやすい物(新聞紙、木材、灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
- 火災・爆発の原因になります。

使用ガス、電源の確認



説明書を確認してください。

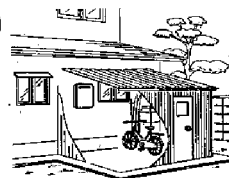


製造年・月をお知らせし、
販売店・販売店に
お問い合わせください。

- 銘板(ラベル)に表示しているガスの種類(ガスグループ)以外では使用しないでください。
- 表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火時の爆発などの原因になります。
- 電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。
- 他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。
- わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

波板囲いなどの禁止

- この本体は屋外設置形です。
- 増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
- 一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

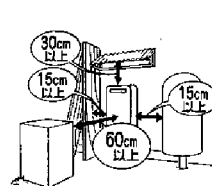


製品の設置・移動工事は

- 製品の設置・移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
- 思わぬ事故を予防するため。

警告

周囲の防火措置について



- 本体のまわりに燃えやすい物(物、木・木材、箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
- 火災予防のため。

やけどに注意

(床暖房が設置されている場合)

- 床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしないでください。
- 低温やけどの原因になります。

注意

やけどに注意



接触禁止



- 排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。
- やけど予防のため、特に、小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

用途について

- 暖房・乾燥以外の用途には使用しないでください。
- 思わぬ事故を予防するため。

本体のまわりはきれいに

- 本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。
- まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、本体の内部にゴミが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

お願い

アースの確認



アースする!

- この本体には、アースが必要ですので確認してください。
- 本体が故障した場合、感電の原因になります。

感電に注意



感電注意



- 電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
- 感電の原因になります。

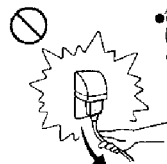
お願い

電源プラグは確実に



●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接触が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



●電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。
電源ケーブルの一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

停電時の処置

●停電したときは、運転が停止します。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)
(放熱器の取扱説明書をご覧ください。)

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(9ページ)

積雪時の注意

●積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。
給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

市販の補助用具使用について

●この本体の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

ガス事故防止

●使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

本体の分解禁止



●本体は絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

凍結に注意



●冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。(9ページ)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

排気ガスについて

●排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
増改築時と同様に注意してください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

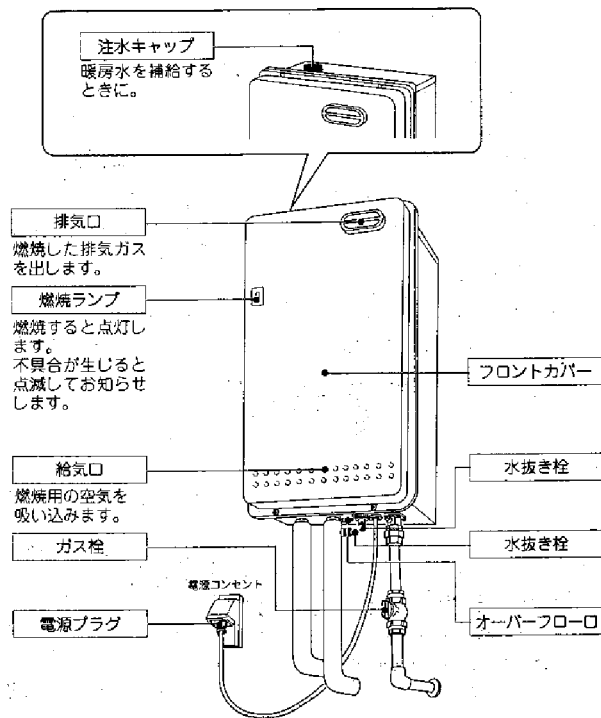
この製品は一般家庭用です

●業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

各部のなまえとはたらき

本体

44-765型



※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

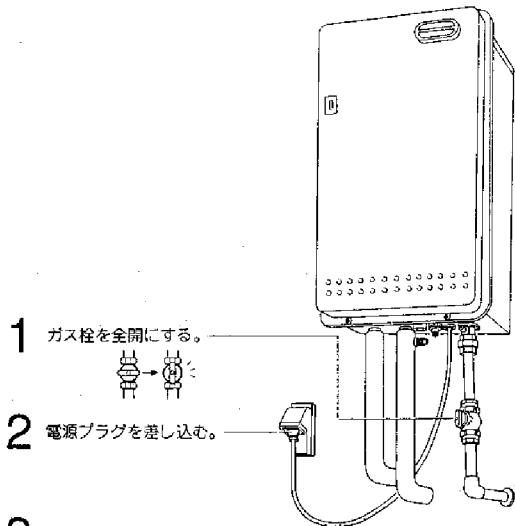
必ずお守りください(お客様上の注意)・各部のなまえとはたらき(本体)

使いかた

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1~3の手順でおこなってください。



1 ガス栓を全開にする。



2 電源プラグを差し込む。



3 放熱器の準備をする。
(放熱器の取扱説明書をご覧ください。)

使いかた

暖房・乾燥運転のしかた

1 暖房(乾燥)する部屋の放熱器の
運転スイッチを入れる

本体の燃焼ランプが点灯します。



操作方法は放熱器の取扱説明書をご覧ください。

2 使い終わったら放熱器の
運転スイッチを切る

本体の燃焼ランプが消灯します。



暖房水の補給について

放熱器の運転スイッチを入れても運転しない場合、または途中で運転が停止した場合は、暖房水が減っていますので、暖房水の補給をしてください。
(暖房水が減ると、本体のほうでも燃焼ランプが断続3回点滅してお知らせします)

注意

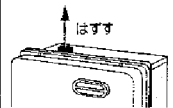


運転直後はタンク(暖房水)が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

補給の
前に

放熱器の運
転スイッチ
を切る。

1 注水キヤップを
はずす



2 水を入れる

オーバーフロー口から
水が出るまで、やかん
などで水を補給してく
ださい。



3 注水キヤップを
取り付ける

手ごたえを感じるまで
しっかりとめ込む。



初めてお使いになるときは、暖房・乾燥運転のしかた

使いかた

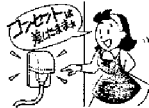
冬期の凍結による破損予防

冬期に本体や配管の水が凍結して製品を破損しないように、以下の方法により凍結による破損を予防します。

自動的に凍結予防運転をします

外気温が下がってくると、自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水を暖め、凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。

電源プラグを抜くとポンプが運転しませんので、電源プラグは抜かないでください。ガス栓も開いたままにしておいてください。



不凍液により凍結予防します

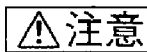
凍結予防には不凍液も使用しています。

大阪ガス指定の不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

不凍液の取扱いについては不凍液の取扱説明書をご覧ください。

日常の点検・手入れのしかた

点検(月1回程度)

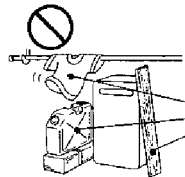


注意

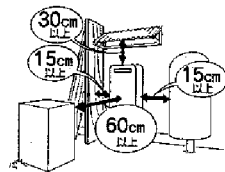


高温注意

運転直後は暖房水が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。



本体や排気口のまわりに新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



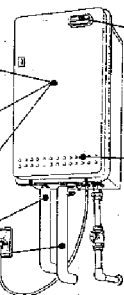
運転中に本体から異常音が聞こえませんか。



本体の外観に、変色したあとなど異常はありませんか。



本体・配管から水漏れはありませんか。



排気口がほこりなどでふさがっていませんか。



給気口がほこりなどでふさがっていませんか。

お手入れ(月1回程度)

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと十分水気をふきとってください。とくに汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

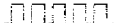
冬期の凍結による破損予防・日常の点検・手入れのしかた

故障かな?と思ったら

次のことを確認してください


運転しない
燃焼ランプ消灯

- 停電していませんか?
- 電源プラグが抜けていませんか?

運転しない
燃焼ランプが
連続点滅する


- ガス栓は全開になっていますか?
ガス栓を全開にして、電源プラグをコンセントから抜き(燃焼ランプ消灯)、再度コンセントに差し込みと使用できます。

運転しない、または
途中で運転がとまる

燃焼ランプが
断続3回点滅する


- 暖房水が不足しています。
暖房水を補給してください。(☞ 8 ページ)

ときどき、
ポンプの回転音
(ウーン)がする。

- 凍結予防のため、ポンプが自動的に回ります。(☞ 9 ページ)
- 長時間使用しないときに、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためです。
(約1ヶ月ごと)

下記の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

- 上記以外の燃焼ランプの点滅表示(例:連続2回点滅)が出るとき
- 上記の確認・処置をしてもなお異常のあるとき
- その他:わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

11ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 …………… 44-765

(下記のようなラベルを本体の正面左下に貼り付けてあります)

(例)

(N) 44-765(U)

大阪ガス株式会社 「08」

お買い上げ日 …… (保証書をご覧ください)

異常の状況 …… (できるだけ詳しく)

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



故障かな?と思ったら:アフターサービスについて

保証について

この製品には保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日時」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が、移設先と合っているか、必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のごガス事業所、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表

製品名	44-765型	
型式名	GH-4000	
種類	暖房方式	温水循環方式
	設置方式	壁外設置形
点火方式	放電点火式	
ポンプ巻外径	4.3mH ₂ O以上 (5ℓ/分のとき)	
膨張タンク有効容量	1.3ℓ	
外形寸法	高さ 600mm × 幅 350mm × 奥行 200mm	
重量 (本体)	16kg (満水時18kg)	
接続口径	ガス	都市ガス R1/2
		L P ガス R1/2
	暖房	R1/2
	オーバーフロー	R1/2
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	85/100W (50/60Hz)	
温度制御方式	ON-OFF制御方式	
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過電流防止装置、ファン回転数検出装置、誘導電保護装置、漏電安全装置、ポンプ過負荷保護装置	

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量	1時間当たりの標準出力 (能力最大時)
都市ガス用 13A	5.81kW (5,000kcal)	4.65kW (4,000kcal)
L P ガス 用	5.81kW (0.42kg)	4.65kW (4,000kcal)

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

メモ



メモ欄として活用してください

主な仕様